



11月3日、東京・日比谷野外音楽堂で行われた全国労働者総決起集会／改憲・戦争阻止！1万人大行進は3000人の労働者・学生・市民が結集し、米日による中国侵略戦争を阻止し、階級的労働運動をよみがえらせる闘いの火柱をあげました。

■動労千葉・関道利(せき みちとし)委員長の基調報告



衆院選では自民党が大敗しました。これまでの政治構造全体に「NO」の声が上がっています。新自由主義は、社会的な連帯や団結を解体し、労働組合を攻撃し、労働者の権利を奪い、生活を破壊してきました。それは医療や教育をはじめ、社会の底が抜けるような崩壊にまで行き着いています。

戦争への怒り、新自由主義への怒り、溜まりに溜まっていた怒りが、政治の場面でも流動化を生み出しています。日本だけではなく、アメリカも、国内支配さえグラグラです。イスラエルに虐殺を行わせ続けるバイデン・ハリスに怒りが爆発し、人生をかけたデモやスト、座り込みの闘いが叩きつけられています。続々とストが闘われ、労働運動の歴史的な再生の展望が切り開かれています。

今回の選挙では、本当に重要なことは争点にされませんでした。「国を守れ」という愛国主義と排外主義の下、中国への侵略戦争に突き進んでいく攻撃との対決こそ、本来「最大の争点」です。東アジアから始まろうとする世界戦争、核戦争を絶対に阻止しなければなりません。そのカギは日本の闘いが握っています。アメリカも日本の全面的な参戦抜きにこの侵略戦争を(裏面に続く)

改憲・戦争阻止！大行進埼玉(埼玉反戦デモ実行委員会)

呼びかけ人 高木美佐子(長崎被爆者・すべての原発今すぐなくそう全国会議(NAZEN)埼玉代表)／
皆川学(元NHK労働者)／堀江淳一(元自治労埼玉県本部書記長)／鈴木喜平(国鉄高崎動力車連帯労働組合委員長)／
田畑典保(一般合同労組さいたまユニオン委員長)

FAX 048-554-2806 メールアドレス: saitamahansen@gmail.com

X(旧ツイッター)アカウント @saitamahansen QRコード→



やり切ることができないからです。沖縄米軍基地を撤去し、琉球弧のミサイル基地化を許さない、新たな安保・沖縄闘争の爆発を。日本から巨大な反戦闘争を作り出そうという決意で、全国の仲間たちが数十波もの反戦デモを闘い、新しい展望も切り開いてきました。

だからこそ、問われているのは労働運動の改革です。戦争に動員されるのが労働者なら、戦争を止める力があるのも労働者です。労働組合は団結と権利の拠り所であると同時に、反戦の砦です。自国政府の戦争政策と闘い、労働者同士が殺し合うのではなく国境を超えて団結し戦争を阻止することは、労働組合の「最も重要な任務」です。連合は自国の軍拡や軍事演習などの戦争行為に対して「反対」と言わず、闘いを組織しようとしません。それは日本の労働者の意識に大きく影響をおよぼしています。連合会長は、「企業が発展しなければ労働条件は改善しない」などと言っています。政府・財界一体で軍需産業に莫大な金が投じられる情勢で「企業を発展させて賃上げを」とだけ言えば、戦争への加担、労働者を戦争に動員していく事と同じです。労働者・労働組合はこれでいいのか。社会の主人公は労働者です。私たちの手で連合を乗り越える労働運動、階級的労働運動を作り上げていくことが絶対に必要です。

最後に、**集会の呼びかけ3労組に対する攻撃を、全労働者の未来のかかった闘いとして絶対に粉砕しよう。**関西生コン支部には当たり前の労働運動を犯罪にでっち上げた戦後最大の労組弾圧、港合同には民事再生を利用した役員を選別解雇・労働組合潰しの攻撃、そしてJRでは、労働法制の歴史的な改悪、「労組なき社会」化攻撃がかけられています。これは「戦争を止め、社会を変える」大きな闘いです。力を結集し、この闘いに必ず勝利しなければなりません。そして、絶対に戦争を阻止するために街頭で実力で闘い、職場からストライキを組織し、階級的労働運動を何としても再生させましょう。

■ 埼玉からの参加者の感想です！

11・3集会・デモには埼玉からも多くの仲間が参加しました。はじめて参加した方から感想が寄せられましたので紹介します。

通信関連労働者・Tさん

空の色は秋めいてきたものの道すがらには露草も咲き、紅葉もまだ先のような汗ばむ陽気の中での初参加です。集会の報告では、関生さんの産業別労働組合の重要性を訴える話が、やはり私の中では一番印象に残りました。通信業界も軍事関係との繋がりも強いだけに、反戦運動に何とかコミットさせていきたいという思いが強まりました。

所属する組合での対話を深め、反戦運動の共同の輪を広げていけるように試行錯誤を続けていきたいと思えます。

デモは3000人規模だけに大迫力！

繰り返し参加して感じるのはデモ行進は「権力に怒りを叩きつける場でもあり、市民の連帯と交流を深める場」だということです。大行進の集会、デモは周囲の人に常に参加を呼び掛けていますが、雰囲気の良いので飛び入り参加の多いことにいつも驚いています。

国会は翼賛化が進み、危険な雰囲気が出ていますが、これからも反戦運動の輪をひろげていきましょう！



全学連とともに、関東の隊列の先頭でデモ。中央は矢嶋全学連委員長、左は動労連帯・木村書記長

大行進の会員になってください。年会費2000円です。埼玉からも反戦運動の爆発を。詳細は事務局まで。